

北海道浮魚ニュース

令和4(2022)年度 16号

2022年9月30日

道総研 釧路水産試験場

【URL】 http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/kushiro/section/zoushoku/ukiuo_news.html

2022年度 第1回サンマ中短期漁況予報発表される

9月9日に2022年度 第1回サンマ中短期漁況予報が漁業情報サービスセンターにより発表されました。中短期予報は、下記のサイトに以下の日程で公表されますので御覧下さい(北海道浮魚ニュースでは、本号にて「第1回の概要」と「公表スケジュール」の案内のみを行います)。第2回:9月20日、第3回:9月29日、第4回:10月7日、第5回:10月19日、第6回:10月31日、第7回:11月9日、第8回:11月18日、第9回:11月29日(日程は目安で、第9回は終漁時期により発表されない場合があります)。

一般社団法人漁業情報サービスセンターURL:

<https://www.jafic.or.jp/information/category/news/>

今後の見通し(2022年9月中旬～10月下旬)

予測期間:2022年9月中旬から10月下旬までの旬別

対象海域:道東海域、三陸海域

対象漁業:さんま棒受網漁業

対象魚群:南下回遊群

●道東海域

- ・来遊量:8月下旬は、道東海域よりもかなり沖合の公海にしか魚群が分布していなかった。漁場は前年よりも東側であった。これらのことから、9月中旬～下旬は、道東海域への魚群の来遊は無い。道東海域よりも東沖の公海における来遊量は、9月中旬～下旬は低水準であり、前年よりも少ない。10月上旬～10月下旬になると、沖合から道東海域に魚群が来遊する可能性もあるが、来遊量は前年並みで少なく、来遊は断続的である。多くの魚群は、道東海域よりも東～南側を南下し、道東近海に来遊する群は極めて少ない。
- ・漁場:9月中旬～下旬は、道東海域には漁場は形成されず、主漁場は道東海域より東側の公海となる。道東海域では、10月上旬～10月下旬に、落石沖の沿岸から離れた沖合に散発的に漁場が形成される。

●三陸海域

- ・来遊量:9月中旬～10月中旬は、来遊は無い。10月下旬になると断続的な来遊があるが、来遊量は前年同様、少ない。
- ・漁場:10月下旬は、三陸海域に漁場が形成される可能性があるが、漁場は三陸沿岸から離れた沖合となる。

